
DST-system 2.0

遊べるDST-systemについて

「DST-system」は4年に渡って破綻する事なく稼働し続けているEA-BANKのEAです。ご存知の無い方は『ダブルスチール投資法PDFやEA-BANKのページをチェックしてみてください。

ダブルスチール投資法 → https://kawase-kakarichou.com/contents/051-DST_report.pdf

EA-BANK → <https://ea-bank.com/eabank/ea1015/>

「DST-system」はAUDNZDに特化し、その回帰性に着目したコロンブスの卵的EAなのですが、その一方で応用的な利用が一切できないという欠点もあります。

そこで今回、みなさんがみなさん自身の「DST-system」を作れるよう大幅な機能拡張を行いました。

AUDNZD以外の通貨ペア対応、ナンピンマーチン、一括損切り、エントリーフィルター機能などなど、組み合わせ方はみなさん次第です。ひょっとしたら「DST-system」を超えるものができるかもしれません。

それでは本マニュアルを一読頂き、「遊べるDST-system」でご自身のアイデアを存分に実験ください！

※本マニュアルはEA開発塾塾生Sによる執筆です。

対応通貨ペア

DST-systemはAUDNZD専用EAということもあり、他通貨ペアでは動作しませんでした。この度、より多くの通貨ペアで実験できるよう、下記の通貨ペアで動作が可能となりました。

GBPUSD、AUDNZD、EURUSD、USDCAD、AUDUSD、EURGBP、EURAUD、EURCHF、GBPCHF、EURNZD、EURCAD、USDCHF、AUDCAD、AUDCHF、NZDUSD、CADCHF、NZDJPY、USDJPY、EURJPY、CADJPY、GBPJPY、AUDJPY、CHFJPY、XAUUSD (GOLD)

新しい機能

DST-systemにはない新しい機能を実装しました。『ダブルスチール投資法』のコンセプトにはない機能も実装することにより、様々な実験が可能となりました。

- 各ポジションごとにTP/SLを設定可能
- ナンピン・マーチンゲール
- 全ポジションの一括損切り
- 最大ポジション数の制限
- テクニカルインジケーターによるエントリーフィルター

オリジナルパラメーター解説

オリジナル「DST-system」にもはるパラメーターの解説です。

マジックナンバー

マジックナンバーの設定です。他のEAのマジックナンバーと被らないよう設定ください。

許容スプレッド

許容するスプレッドの値(Pips)の設定です。スプレッドが設定値よりも大きな場合にはエントリーが行われません。

ロット

発注ロット数の設定です。

エントリーインターバルpips

ナンピンエントリー間隔(Pips)の設定です。

利確pips

利益確定の設定です(Pips指定)。全ポジションの合計利益が本設定値を超える場合、全てのポジションをクローズします。

遊べるパラメーター解説

今回新しく実装したパラメーターの解説です。

買いエントリーの最高値

買いを入れられる範囲の設定です。現在レートが本設定値より小さい場合、買いエントリーを行います。

〈デフォルト値「100000」〉:実質的にどのレートでも買いが入る状態です。たとえばこれを100にした場合、USDJPY=100円以下の時のみ買いが入るEAになります(101円では買いは入らない)。

売りエントリーの最安値

売りを入れられる範囲の設定です。現在レートが本設定値より大きい場合、売りエントリーを行います。

〈デフォルト値「0」〉:実質的にどのレートでも売りが入る状態です。たとえばこれを130にした場合、USDJPY=130円以上の時のみ売りが入るEAになります(129円では売りは入らない)。

各ポジションTP

各ポジションごとのテイクプロフィットです(Pips指定)。

〈デフォルト値「0」〉:テイクプロフィットはセットされません。

各ポジションSL

各ポジションごとのストップロスです(Pips指定)。

〈デフォルト値「0」〉:ストップロスはセットされません。

ナンピン・マーチンゲール

ナンピン・マーチンゲールを行うかの設定です。「true」を選択するとナンピン・マーチンゲールに基づく変動ロットにてエントリーを行います。

〈デフォルト値「false」〉:固定ロットによるエントリーです。

損切りpips

全ポジションの一括損切り設定です (Pips指定)。全ポジションの合計損失が本設定値を超える場合、全てのポジションをクローズします。

下の図は損切り値を150pipsと設定した場合の例です。4ポジションの損失合計が-152pipsとなり設定値を超えたため全てのポジションをクローズしています。



ナンピン・マーチンゲールでの損切りの考え方も示しておきます。下の図は損切り値を同じく150pipsとした場合の例です。4ポジションの損失合計が-159pipsとなり設定値を超えたため全てのポジションをクローズしています。損失の算出方法は (ポジションの損失) × (エントリーロット数 ÷ 初回エントリーロット数) の合計値となる点に注意ください。



〈デフォルト値「0」〉: 全ポジションの一括損切りを行いません。

最大ポジション数

最大ポジション数の設定です。1～100の範囲で指定します。ナンピンしない場合は「1」と設定します。

〈デフォルト値「100」〉:『ダブルスチール投資法』のナンピンを実現するための設定です。ポジション数に余裕を持たせた設定としています。

エントリーフィルター

テクニカルインジケーターによりエントリー条件を絞ります。「エントリーフィルター」からプルダウンメニューで以下のフィルターを選択できます。

(※)各フィルターのテクニカルインジケーター設定(計算期間など)や時間軸を変更したい場合には「エントリーフィルターのパラメータ1～4」「エントリーフィルターの時間軸」にて指定可能です。「エントリーフィルターのパラメータ1～4/エントリーフィルターの時間軸」の解説をご覧ください。

RSI逆張りフィルター:RSIが30以下の場合のみ買い、70以上の場合のみ売りエントリーを行います。

RSIデフォルト設定:計算期間14

WPR逆張りフィルター:ウィリアム%Rが-80以下の場合のみ買い、-20以上の場合のみ売りエントリーを行います。

ウィリアム%Rデフォルト設定:計算期間14

ストキャスメイン線順張りフィルター:ストキャスティックス%Dラインが80以上の場合のみ買い、20以下の場合のみ売りエントリーを行います。

ストキャスティックスデフォルト設定:%K期間5、%D期間3、slowDの計算期間3

MACDトレンドフィルター:MACD基本線がゼロより大きい場合は買いのみ、ゼロ小さい場合は売りのみのエントリーを行います。

MACDデフォルト設定:短期EMA期間12、長期EMA期間26、シグナルライン期間9

移動平均線トレンドフィルター:ローソク足の終値と移動平均線の位置関係に基づくフィルターです。「順張り」設定の場合、ローソク足の終値が移動平均線より上にいる場合は買いのみ、下にいる場合は売りのみのエントリーを行います。「逆張り」はその反対となります。

デフォルトは「順張り」設定です。「順張り」「逆張り」の切り替えは「エントリーフィルターのパラメータ1～4」を参照ください。

移動平均線デフォルト設定:単純移動平均、計算期間120

フィルターなし:いずれのエントリーフィルターも適用しません。

〈デフォルト値「フィルターなし」〉

エントリーフィルターのパラメータ1～4／エントリーフィルターの時間軸

各フィルターのテクニカルインジケータ設定および時間軸を変更したい場合に利用します。具体例にて解説します。

エントリーフィルターのパラメータ1～4は設定値が「0」の場合、デフォルト値が適用されます。

RSI逆張りフィルター

計算期間: 11、売りエントリー基準値: 80以上(買いエントリー基準値: 20以下)、時間軸: 30分足の場合

<input type="checkbox"/> エントリーフィルター	RSI逆張りフィルター		
<input type="checkbox"/> エントリーフィルター適用方法	毎回エントリーに利用		
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ1		11	計算期間
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ2		80	エントリー基準値 (0～100)
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ3		0	利用しません
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ4		0	利用しません
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターの時間軸	30分足		時間軸

WPR逆張りフィルター

計算期間: 9、買いエントリー基準値: -95以下(売りエントリー基準値: -5以上)、時間軸: 30分足の場合

<input type="checkbox"/> エントリーフィルター	WPR逆張りフィルター		
<input type="checkbox"/> エントリーフィルター適用方法	毎回エントリーに利用		
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ1		9	計算期間
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ2		-95	エントリー基準値 (-100～0)
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ3		0	利用しません
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ4		0	利用しません
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターの時間軸	30分足		時間軸

ストキャスメイン線順張りフィルター

%K期間: 10、%D期間: 6、slowDの計算期間: 6、買いエントリー基準値: 90以上(売りエントリー基準値: 10以下)、時間軸: 4時間足の場合

<input type="checkbox"/> エントリーフィルター	ストキャスメイン線順張りフィルター		
<input type="checkbox"/> エントリーフィルター適用方法	毎回エントリーに利用		
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ1		10	%Kの計算期間
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ2		6	%Dの計算期間
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ3		6	slowDの計算期間
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ4		90	エントリー基準値 (0～100)
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターの時間軸	4時間足		時間軸

MACDトレンドフィルター

短期EMA期間:24、長期EMA期間:52、シグナルライン期間:18、時間軸:1時間足の場合

<input type="checkbox"/> エントリーフィルター	MACDトレンドフィルター		
<input type="checkbox"/> エントリーフィルター適用方法	毎回エントリーに利用		
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ1		24	短期EMA期間
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ2		52	長期EMA期間
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ3		18	シグナルライン期間
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ4		0	利用しません
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターの時間軸	1時間足		時間軸

移動平均線トレンドフィルター

計算期間:240、トレンド方向:逆張り(1)、種類:指数移動平均線、時間軸:日足の場合

<input type="checkbox"/> エントリーフィルター	移動平均線トレンドフィルター		
<input type="checkbox"/> エントリーフィルター適用方法	毎回エントリーに利用		
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ1		240	計算期間
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ2		1	トレンド方向
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ3		1	種類
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターのパラメータ4		0	利用しません
<input type="checkbox"/> エントリーフィルターの時間軸	日足		時間軸

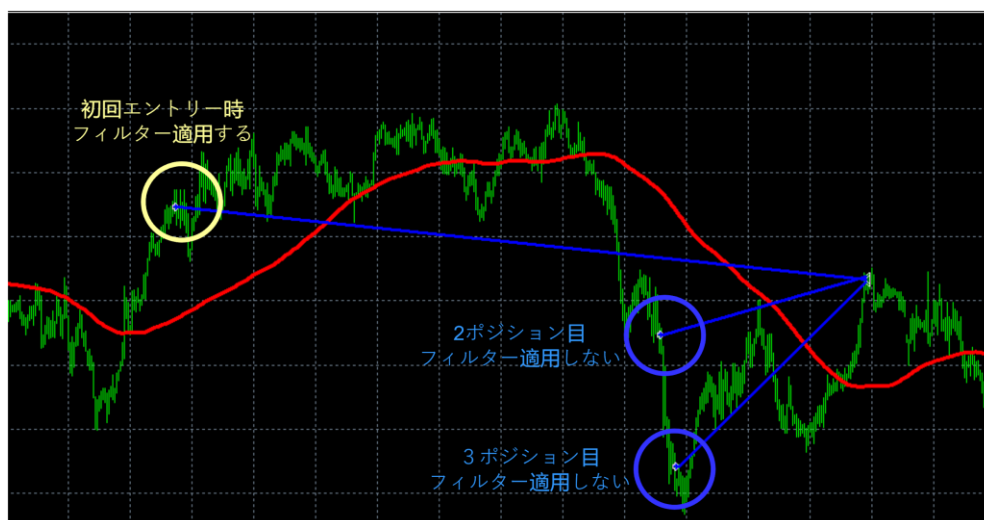
- トrend方向は「順張り=0」、「逆張り=1」となります。
- 種類は「単純移動平均線(SMA)=0」、「指数移動平均線(EMA)=1」、「平滑移動平均線(SMMA)=2」、「線形加重移動平均線(LWMA)=3」となります。

エントリーフィルター適用方法

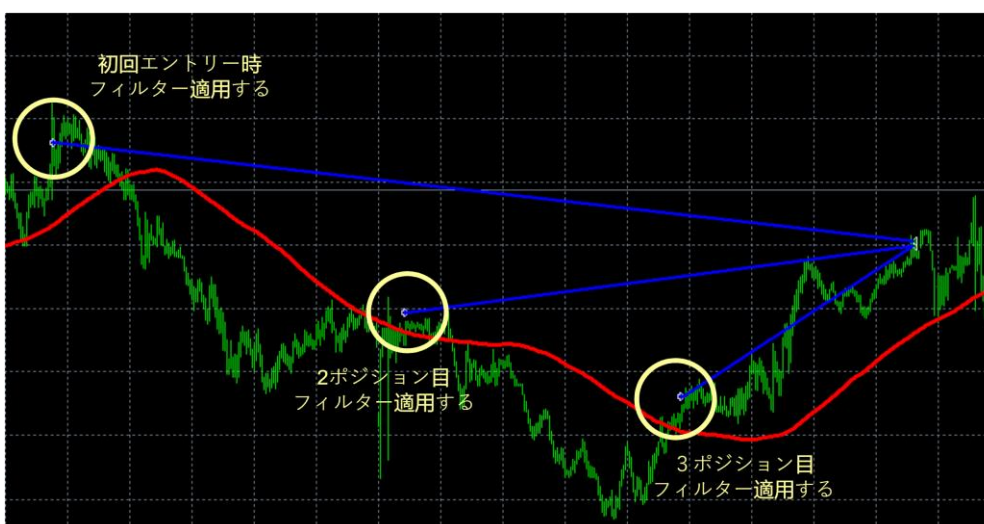
エントリーフィルターの適用方法です。

※エントリーフィルターにて「フィルターなし」を選択の場合、本パラメーターは意味を持ちませんのでご注意ください。

初回エントリーのみ利用 初回エントリー時のみにフィルターを適用します。以降のナンピンエントリー時にはフィルターは適用しません。図は「移動平均線トレンドフィルター、順張り」の例です。初回エントリー時のみローソク足が移動平均線より上にあります。2ポジション目以降はローソク足と移動平均線の位置に関係なく等間隔エントリーとなります。



毎回エントリーに利用 全てのエントリー時にフィルターを適用します。図は「移動平均線トレンドフィルター、順張り」の例で、全てのエントリー時にローソク足が移動平均線より上にあります。



〈デフォルト値「初回エントリーのみ利用」〉

実験方法(遊び方)の例

ここでは実験方法の具体例を示していきます。あくまで「こんな感じで遊んでもらえますよ」という例になります。模範例というわけでもありません。

本パラメーターの設定が推奨値ではない点に十分ご注意ください。

EURGBPでの実験

オリジナルの『ダブルスチール投資法』での通貨ペアはAUDNZDですが、他の通貨ペアでは通用するのでしょうか？ここではEURGBPで実験をしてみましょう。

売り/買いゾーン

『ダブルスチール投資法』に従い、売りゾーンと買いゾーンをざっくりと決めてみます。

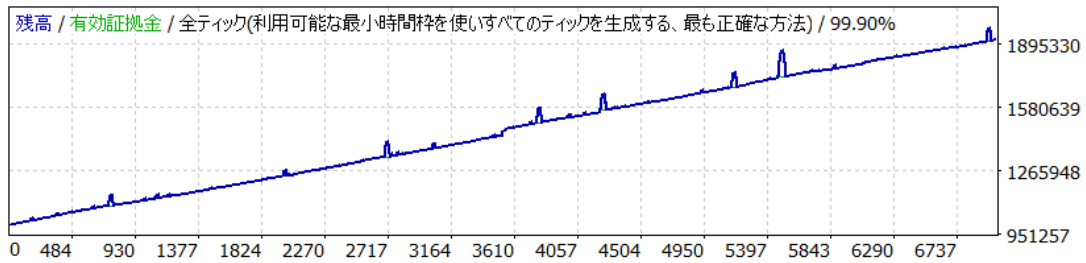
2003年～2022年の最高値はおおよそ0.979、最安値は0.655といったところですが、中央値は0.817となりますので、売りゾーンの最安値を0.82、買いゾーンの最高値を0.79としてみましょう。



それでは、ストラテジーテスターの「エキスパート設定」にて、以下の赤枠のように設定します。これ以外は初期設定のままです。

<input type="checkbox"/> 買いエントリーの最高値	0.79
<input type="checkbox"/> 売りエントリーの最安値	0.82

パラメーター設定が完了したら、バックテストを走らせ、結果を確認しましょう。



通貨ペア	EURGBP (Euro vs Great Britain Pound)		
期間	5分足(M5) 2010.01.01 02:00 - 2022.09.30 23:55 (2010.01.01 - 2022.10.01)		
モデル	全ティック (利用可能な最小時間枠による最も正確な方法)		
パラメーター	comment0=""; MagicNumber=20180324; AllowSpreadPips=2.5; Lots=0.01; InterbalPips=20; Profitpips=15; comment1=""; Buymaxprice=0.79; Sellmaxprice=0.82; TakeProfit_pips=0; StopLoss_pips=0; Martin=false; NanpinStoplossPips=0; maxposition=100; filter=0; applyfilter=1;		
テスト バー数	954030	モデルティック数	221535185 モデリング品質 99.90%
不整合 チャート エラー	0		
初期証 拠金	1000000.00	スプレッド	20
純益	917674.51	総利益	2368708.72 総損失 -1451034.21
プロフ イット ファク タ	1.63	期待利得	131.32
絶対ド ローダ ウン	127968.08	最大ドローダウン	537744.75 (31.14%) 相対ドローダウン 31.14% (537744.75)
総取引 数	6988	売りポジション(勝率%)	5947 (69.78%) 買いポジション(勝率%) 1041 (70.99%)
		勝率(%)	4889 (69.96%) 負率(%) 2099 (30.04%)

まずはAUDNZD以外の通貨ペアで、10年以上破綻なく利益出していることは新たな発見です！一方で、オリジナルのDTS-systemより最大ドローダウンが大きくなっている点は改善の余地があるかもしれません。

また、グリッド系ロジックはもっと長期間のバックテストを行い、より慎重に確認することも必要です。

EURGBPでの実験、エントリーフィルター編

「エントリーフィルターを適用すると性能はもっと良くなるかも？」というアイデアが湧いてくるので、早速試してみます。

エントリーフィルター

押し目買い／戻り売りを狙って「RSI逆張りフィルター」を選びます。

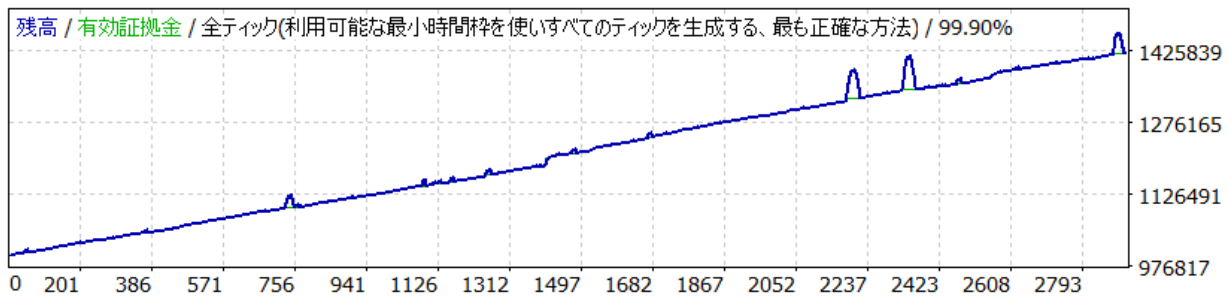
エントリーフィルター適用方法

「初回エントリー時のみ利用」と「毎回エントリーに利用」で迷いますが、実験なので試しに「毎回エントリーに利用」を選んでみます。

ストラテジーテスターの「エキスパート設定」は、赤枠のように変更します。それ以外は初期設定のままです。

<input type="checkbox"/> 買いエントリーの最高値	0.79
<input type="checkbox"/> 売りエントリーの最安値	0.82
<input type="checkbox"/> 各ポジションTP(0はTPなし)	0
<input type="checkbox"/> 各ポジションSL(0はSLなし)	0
<input type="checkbox"/> ナンピン・マーチンゲール	false
<input type="checkbox"/> 損切りpips(0は損切りなし)	0.0
<input type="checkbox"/> 最大ポジション数(1~100)	100
<input type="checkbox"/> エントリーフィルター	RSI逆張りフィルター
<input type="checkbox"/> エントリーフィルター適用方法	毎回エントリーに利用

パラメーター設定が完了したら、バックテストを走らせ、結果を確認です。



通貨ペア	EURGBP (Euro vs Great Britain Pound)		
期間	5分足(M5) 2010.01.01 02:00 - 2022.09.30 23:55 (2010.01.01 - 2022.10.01)		
モデル	全ティック (利用可能な最小時間枠による最も正確な方法)		
パラメーター	comment0=""; MagicNumber=20180324; AllowSpreadPips=2.5; Lots=0.01; InterbalPips=20; Profitpips=15; comment1=""; Buymaxprice=0.79; Sellmaxprice=0.82; TakeProfit_pips=0; StopLoss_pips=0; Martin=false; NanpinStoplossPips=0; maxposition=100; filter=1; applyfilter=1;		
テスト バー数	954030	モデルティック数	221535185 モデリング品質 99.90%
不整合 チャート エラー	0		
初期証 拠金	1000000.00	スプレッド	20
純益	419813.08	総利益	916448.78 総損失 -496635.70
プロフ イット ファク タ	1.85	期待利得	144.91
絶対ド ローダ ウン	24647.17	最大ドローダウン	311932.03 (23.23%) 相対ドローダウン 23.23% (311932.03)
総取引 数	2897	売りポジション(勝率%)	2449 (73.50%) 買いポジション(勝率%) 448 (73.21%)
		勝率(%)	2128 (73.46%) 負率(%) 769 (26.54%)

これも同じく10年以上破綻なく利益を出してくれました。

では、フィルターの効果はどこにあらわれているのでしょうか？フィルターなしと比較すると、まず「プロフィットファクター」が1.63→1.85に向上しています。そして「最大ドローダウン」が31.14%→23.23%に減少しています。フィルターなしよりも危ない場面を回避できていると言えます。

その一方で総取引数が6988→2897に減り、それに伴い純益も減っていますね。

エントリーフィルターを適用すると取引回数は必ず少なくなる点には注意しておきましょう。

また、エントリーフィルターは性能を必ず良くしてくれる魔法の道具ではありません。フィルターを適用したら性能が悪くなることも多々あります。色々なエントリーフィルターを試してみるとよいでしょう。

両建てできる？

もう少し面白いこともやってみましょう。

買いエントリーの最高値／売りエントリーの最安値

先ほどの例では『ダブルスチール投資法』従い、「買いエントリーの最高値」「売りエントリーの最安値」を過去の値幅の中央値付近としました。しかし『ダブルスチール投資法』にとらわれる必要はありません。例えば「買いエントリーの最高値＝10000、売りエントリーの最安値＝0と極端な設定にしたらどこの領域でも売り買い両方入るんじゃないの？」と思う人もいるでしょう。思いついたら、ストラテジーテスターをビジュアルモードで走らせ、エントリー状況の確認です。

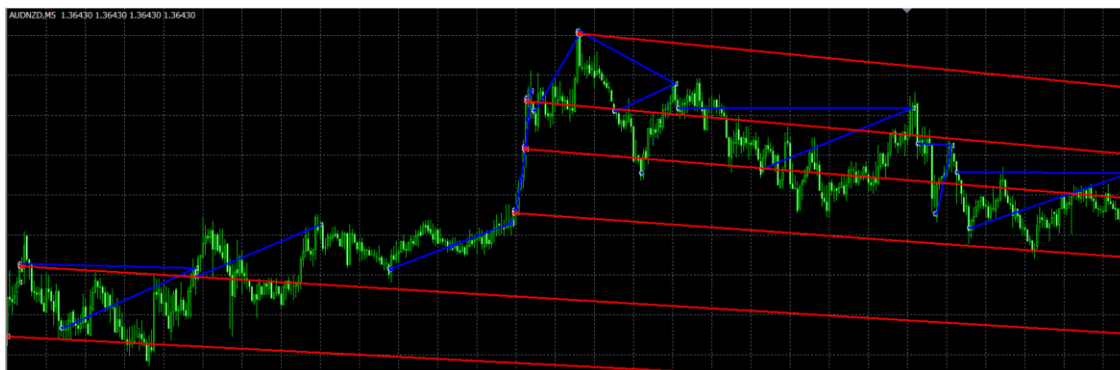
まずはデフォルト設定で走らせた時のエントリー状況です。通貨ペアはAUDNZD。売り領域なので、売りエントリーのみになっています。



次に、パラメータ「買いエントリーの最高値」「売りエントリーの最安値」を以下赤枠のように変更しストラテジーテスターを走らせます。それ以外は初期設定のままです。

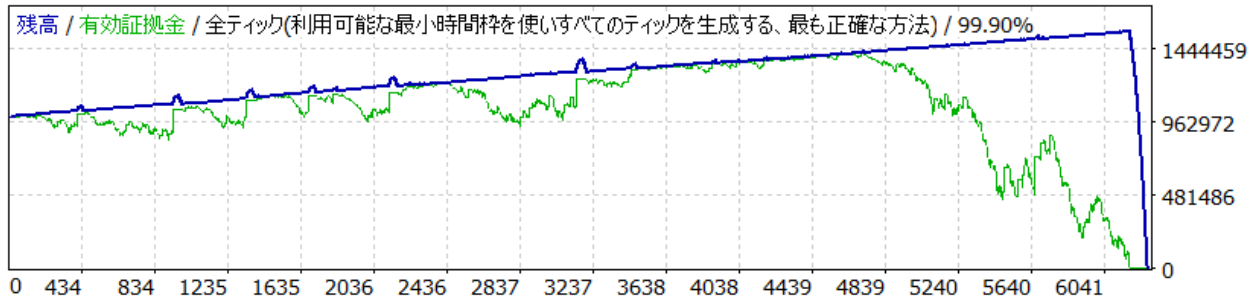
<input type="checkbox"/> 買いエントリーの最高値	10000.0
<input type="checkbox"/> 売りエントリーの最安値	0.0

全域が売り買い領域となるので、売り買い両方のエントリーが入っています。本EAは、両建ても可能ということがわかりました！



バックテスト結果も確認しておきましょう。ですが、残念ながら結果は破産です…。やはり「DST-system」はうまく作られているのですね。

しかし、だからといって両建てがダメと結論づける必要もありません。他の通貨ペアやフィルターをかけたりすると良い結果が得られる可能性もあります。

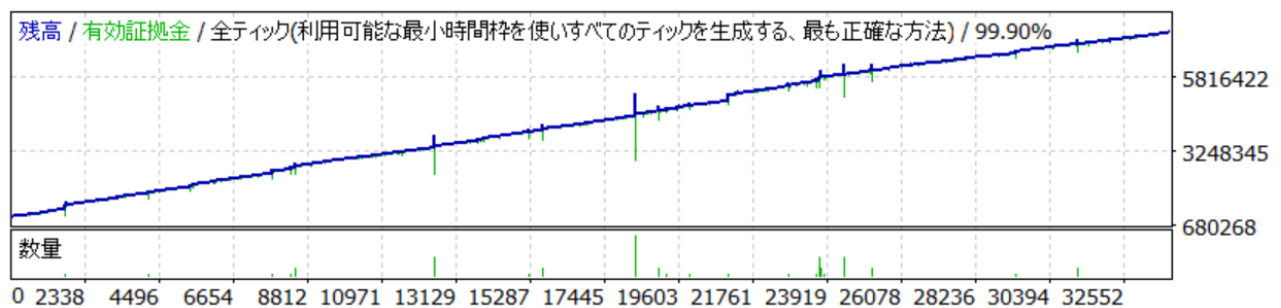


ナンピンマーチン

どんどん進めていきます。好きな人は大好きなナンピンマーチンです。先ほどの両建てナンピンにマーチンゲールを試してみます。以下赤枠のとおり設定を変更してバックテストします。

<input type="checkbox"/> 買いエントリーの最高値	10000.0
<input type="checkbox"/> 売りエントリーの最安値	0.0
<input type="checkbox"/> 各ポジションTP(0はTPなし)	0
<input type="checkbox"/> 各ポジションSL(0はSLなし)	0
<input type="checkbox"/> ナンピン・マーチンゲール	true

10年以上を耐え抜いています！ナンピンマーチンは危険なイメージがありますが、うまく使えば破綻を回避できることもあるということですね。



エントリーインターバルを縮めて爆益？

エントリーインターバルと小さくすると、エントリー回数は増えます。エントリー回数が増えて、もし早いタイミングで利確できるとすれば利益がすごく増えるかも、と想像できます。ここでは「DST-system」vs「DST-systemインターバル縮めた版」の対決を行います。短期決戦で結果を見てみましょう。

まず、こちらが通常の「DST-system」。エントリーインターバルは20Pipsです。

通貨ペア	AUDNZD (Australian Dollar vs New Zealand Dollar)		
期間	5分足(M5) 2021.01.04 00:00 - 2022.09.30 23:55 (2021.01.01 - 2022.10.01)		
モデル	全ティック (利用可能な最小時間枠による最も正確な方法)		
パラメーター	comment0="====="; MagicNumber=20180324; AllowSpreadPips=35; Lots=0.01; InterbalPips=20; Profitpips=15; comment1="====="; Buymaxprice=1.18; Sellmaxprice=1.2; TakeProfit_pips=0; StopLoss_pips=0; Martin=false; NanpinStoplossPips=0; maxposition=100; filter=0; applyfilter=0;		
初期証拠金	1000000.00	スプレッド	35
純益	40658.65	総利益	97067.78
		総損失	-56409.13
プロフィットファクタ	1.72	期待利得	72.09
絶対ドロウダウン	104930.20	最大ドロウダウン	111400.88 (11.07%)
		相対ドロウダウン	11.07% (111400.88)
総取引数	564	売りポジション(勝率%)	0 (0.00%)
		買いポジション(勝率%)	564 (66.13%)

そして、こちらが「DST-systemインターバル縮めた版」。エントリーインターバルは10Pipsです。

通貨ペア	AUDNZD (Australian Dollar vs New Zealand Dollar)		
期間	5分足(M5) 2021.01.04 00:00 - 2022.09.30 23:55 (2021.01.01 - 2022.10.01)		
モデル	全ティック (利用可能な最小時間枠による最も正確な方法)		
パラメーター	comment0="====="; MagicNumber=20180324; AllowSpreadPips=35; Lots=0.01; InterbalPips=10; Profitpips=15; comment1="====="; Buymaxprice=1.18; Sellmaxprice=1.2; TakeProfit_pips=0; StopLoss_pips=0; Martin=false; NanpinStoplossPips=0; maxposition=100; filter=0; applyfilter=0;		
初期証拠金	1000000.00	スプレッド	35
純益	88048.38	総利益	213197.39
		総損失	-125149.01
プロフィットファクタ	1.70	期待利得	53.23
絶対ドロウダウン	122126.98	最大ドロウダウン	135073.05 (13.33%)
		相対ドロウダウン	13.33% (135073.05)
総取引数	1654	売りポジション(勝率%)	0 (0.00%)
		買いポジション(勝率%)	1654 (69.53%)

取引回数が564回→1654回と増え、純益が40658.65→88048.38と2倍以上となっています。

一般に爆益を狙う場合はロット数を上げますよね。グリッドロジックの場合にはそれに加え「エントリーインターバルを小さくする」という方法があります。相場が平均回帰の方向に動くという確信があれば、短期的にエントリーインターバルを小さくするという裁量判断をしても面白いでしょう。

損切りしてみる

「DST-system」は損切りをしないEAです。と言いますか、大抵のグリッド系EAは通常損切りをしません。でも今回の「遊べるDST-system」では損切りの機能を入れています。損切をしたらどんな感じになるのか試してみましょう。

以下赤枠のとおり設定を変更してバックテストします。

<input type="checkbox"/> 損切りpips(0は損切りなし)	400.0
---	-------

資産曲線を見ると、うまく利確できている時は順調に増えていきますが、含み損が増えた時に一括損切りされ一気に資金が減っています。いわゆる「コツコツドカン」の挙動です。

「グリッド系は含み損が大きくなった時に不安になるから嫌いだあ」という方もいるかもしれません。そういう方は損切りをしてみると、ひょっとしたら好きになれるかもしれませんよ。



もはやグリッド系ではない

設定で遊び過ぎると、グリッド系ではないEAに化けたりもします。例えば以下赤枠のような設定変更をしてみます。

ポイントは「最大ポジション数=5」としているところです。グリッド系のように無限にポジションは増やしません。

<input type="checkbox"/> エントリーインターバルpips	10
<input type="checkbox"/> 利確pips	30.0
==== 【遊べるパラメーター】=====	
<input type="checkbox"/> 買いエントリーの最高値	1.18
<input type="checkbox"/> 売りエントリーの最安値	1.2
<input type="checkbox"/> 各ポジションTP(0はTPなし)	0
<input type="checkbox"/> 各ポジションSL(0はSLなし)	0
<input type="checkbox"/> ナンピン・マーチンゲール	false
<input type="checkbox"/> 損切りpips(0は損切りなし)	140.0
<input type="checkbox"/> 最大ポジション数(1~100)	5
<input type="checkbox"/> エントリーフィルター	RSI逆張りフィルター
<input type="checkbox"/> エントリーフィルター適用方法	毎回エントリーに利用

グリッド系の資産曲線は一般的にピーンとまっすぐに伸びますが、これは何だか普通のEAっぽくなっていますね。山あり谷ありと言いますか。グリッド系から逸脱するような遊び方も一興です。遊び方にルールはありません！



おわりに

本マニュアルでは「遊べるDST-system」の機能解説と遊び方についてご紹介しました。遊び方については、本当にごく一例に過ぎません。是非、みなさまの自由な発想をもって本EAをご活用ください。

本マニュアルおよびEAがみなさまのトレードの一助となることを願っています。